



栗林公園 新能之月



令和七年十月十日(金)
とき
開場十七時 開演十八時 終演二十二時頃

特別名勝 栗林公園
檜御殿跡特設能舞台

(商工奨励館西側芝生広場)

※雨天の場合 レクザムホール(香川県県民ホール) 小ホール

ところ
とき
開場十七時 開演十八時 終演二十二時頃

祝言能
狂言
能
仕舞
八
海
島
清
水
砂

お問い合わせ／県民ホールサービスセンター
電話 087-823-5023 (十時～十八時)
主催／香川県 公益社団法人 香川県観光協会
後援／公益財團法人 松平公益会

仕舞 八島（やしま）

八島の浦の汐屋に一夜の宿を借りた都よりの旅僧のもとに、甲冑姿の義経の靈が現れ、源平の戦さの有様を語り、修羅道の戦いの様子を表し、やがて朝風と共に消え去る。

海人（あま）

藤原不比等（ふひと）の後継の藤原房前（ふさざき）大臣が、自分で産んで直ぐに亡くなった母の三回忌追善供養のために、讃岐志度の浦房前へ来る。通りかかった海女に、この辺りの事を詳しく聞くうちに、この沖に沈んだ「面向不背（めんこうふはい）の珠」を取り返した海女と不比等との間に生まれた子こそ、房前大臣であると教える。

そして、その海女が龍宮へ決死の覚悟で向かい、珠を取り返した曉に我が子を後継者にする約束を取り付け、見事に取り返したものの、龍達に襲われた重傷のために息を引き取ったことを物語る。（玉之段）さらに自分こそ、その時の海女であり母であると伝え、私の手紙を見なさいと言つて海に消えて行つた。【中入】房前が亡き母を懽ろに弔つていると、成仏への過程で龍女に変じた母の靈が現れ、有難い経文を読み、房前に授けて舞を舞い、成仏して行くのであつた。

御伽草子の「玉取り物語」として、男女、母子の深い愛の話として今に伝わる伝説を基に、後日談としてつくられた名曲。

狂言 清水（しみず）

お茶会で使う水を野中の清水へ汲みに行くよう、主人に命じられた太朗冠者は、お使いに行きたくない心で「鬼が出ました」と嘘をつくが、主人は太朗冠者が置いてきた秘蔵の手桶を探してくると言い出す。慌てた太朗冠者は先回りをして、鬼の面を付けて脅すのだが…。

祝言能 高砂（たかさご）

阿蘇神社の神主友成が立ち寄った播州（兵庫県）高砂の浦で、一本の松の木陰を掃き清める老夫婦と出会う。実は自分は摂津（大阪府）住吉の住吉明神であること、妻は高砂の地の神であることを明かし、我に会いたくば住吉へ来いと告げて海へ消える。友成は意気揚々と船に乗り住吉へ向かう。（高砂やー）の場面）住吉に着くと住吉明神が現れ、「我を信する限り、世の中を平和にしよう」と神の誓いを示し、颶爽と神舞を舞う。

今回は栗林公園五〇周年の祝賀として、「祝言能」と言う特別な形式で、祝言性の高い後半部分の、神主友成が住吉へ向かう場面から演じられる。

「松「夫婦の愛」「神と人間の繋がり」が表面的に見えるテーマで、あるが、内面的には「生命」「再生」「永遠の持続性」「和合」「融合」「森羅万象の尊厳」という大きなテーマを持つ演目。

仕舞 八島（やしま）

海人（あま）

石黒	実都
辰巳	和磨
辰巳	孝弥
辰巳大二郎	鶴田 航巳

義経靈	地謡
海人	龍女
辰巳紫央莉	藤原房前
辰巳満次郎	臣下
大坪喜美雄	所の者
大坪喜美雄	山下
宝生欣哉	守之
宝生欣哉	市和
曾和鼓堂	杉
曾和鼓堂	山内
石井景之	辰巳
三島元太郎	辰巳
三島元太郎	辰巳
宝生和英	辰巳
和磨和英	辰巳
孝弥和英	辰巳
崇生和英	辰巳
宝生和英	辰巳

休憩（十分）

狂言 清水（しみず）

石黒	実都
辰巳	和磨
辰巳	孝弥
辰巳大二郎	鶴田 航巳

義経靈	地謡
海人	龍女
辰巳紫央莉	藤原房前
辰巳満次郎	臣下
大坪喜美雄	所の者
大坪喜美雄	山下
宝生欣哉	守之
宝生欣哉	市和
曾和鼓堂	杉
曾和鼓堂	山内
石井景之	辰巳
三島元太郎	辰巳
三島元太郎	辰巳
宝生和英	辰巳
和磨和英	辰巳
孝弥和英	辰巳
崇生和英	辰巳
宝生和英	辰巳

仕舞 八島（やしま）

海人（あま）

石黒	実都
辰巳	和磨
辰巳	孝弥
辰巳大二郎	鶴田 航巳

義経靈	地謡
海人	龍女
辰巳紫央莉	藤原房前
辰巳満次郎	臣下
大坪喜美雄	所の者
大坪喜美雄	山下
宝生欣哉	守之
宝生欣哉	市和
曾和鼓堂	杉
曾和鼓堂	山内
石井景之	辰巳
三島元太郎	辰巳
三島元太郎	辰巳
宝生和英	辰巳
和磨和英	辰巳
孝弥和英	辰巳
崇生和英	辰巳
宝生和英	辰巳

休憩（十分）

狂言 清水（しみず）

石黒	実都
辰巳	和磨
辰巳	孝弥
辰巳大二郎	鶴田 航巳

義経靈	地謡
海人	龍女
辰巳紫央莉	藤原房前
辰巳満次郎	臣下
大坪喜美雄	所の者
大坪喜美雄	山下
宝生欣哉	守之
宝生欣哉	市和
曾和鼓堂	杉
曾和鼓堂	山内
石井景之	辰巳
三島元太郎	辰巳
三島元太郎	辰巳
宝生和英	辰巳
和磨和英	辰巳
孝弥和英	辰巳
崇生和英	辰巳
宝生和英	辰巳



辰巳 满次郎



大坪 喜美雄（人間国宝）



宝生宗家 宝生 和英



茂山 千五郎



三島 元太郎（人間国宝）



宝生 欣哉（人間国宝）

特別名勝

栗林公園開園150周年記念 栗林公園薪能

10月10日(金) 開演18時 (開場17時、終演21時頃)

特別名勝 栗林公園 檜御殿跡特設能舞台(商工奨励館西側芝生広場)

香川県高松市栗林町1丁目20番16号

雨天の場合:レクザムホール(香川県県民ホール) 小ホール

当日は混雑が予想されますので、公共交通機関でお越し下さい。

- 栗林公園前バス停から徒歩1分
- JR栗林駅から徒歩15分
- JR高松駅から車で約7分
- 高松中央ICから車で約20分



雨天会場決定案内は 10月10日(金)12時 に
栗林公園HP、県民ホールHPにて発表いたします。

問い合わせ先:県民ホールサービスセンター tel.087-823-5023(10時より受付)

レクザムホール(香川県県民ホール) 小ホール

香川県高松市玉藻町9-10

JR高松駅から徒歩8分

各方面からJR利用、終点高松駅下車で徒歩8分

各方面から高速バス利用、終点高松駅下車徒歩8分

駐車場のご利用 ホール専用の駐車場はございません。

ホール周辺の有料駐車場をご利用ください。



無料 スマホde解説

提供:一般財団法人衆我財团

チケット料金

ロイヤル	16,000円
S席	12,000円
A席	10,000円

*未就学児の入場はご遠慮ください。

*車椅子席ご希望の方は県民ホール

サービスセンターまでお問い合わせください。

車椅子・同伴者のお席は8,000円で販売します。

雨天会場に変更になった場合や出演者が変更になった場合、入場券の払い戻し、キャンセルなどはできませんので、予めご了承ください。

上場途中で天候が悪化してきた場合、一曲の終了をもって公演成立とさせていただきます。

一般発売 / 6月22日(日)午前10時より

インターネット予約(座席指定可・24時間受付)

<https://kenminhall.com/visitors/ticket/>

県民ホールサービスセンター

tel.087-823-5023(10:00~18:00)

■ 香川県庁生協

■ 高松市役所生協

■ 三豊市文化会館マリンウェーブ

■ 観音寺市民会館(ハイスタッフホール)

tel.087-832-3822

tel.087-839-2043

tel.0875-56-5111

tel.0875-23-7600

*発売開始時間は各店舗により異なります。

tel.087-832-3822

tel.087-839-2043

tel.0875-56-5111

tel.0875-23-7600

スマートフォンから配信用QRコードを読み取ると無料音声ガイドをご利用いただけます。

詳しいは当日会場にてご案内します。※スマートフォンとイヤホンをご持参ください。